

あさまる通信



※プレゼントは裏面にあります。

荷造りテープで花カゴ作り
2月28日(土)袖ヶ浦公民館で子供たちにリサイクルについて考えてもらおうと、荷造りテープを使って花カゴを作る教室がありました。公民館からの呼びかけで、袖ヶ浦西小学校と袖ヶ浦東小学校から受講者を募集しました。今回は4年生8名、5年生3名の参加がありました。

今回使用した荷造りテープはASA習志野袖ヶ浦で、印刷工場から送られて来る新聞の梱包に使われて来たポリプロピレンの紐(PPバンド)が提供されました。通常は専用の切断機で2センチ程の大きさに切断され、業者に回収に来てもらう可燃ゴミです。それをリサイクルしカゴを作ります。PPバンド(以後はテープ)で作るカゴは丈夫で通気性が高いので、先生方はジャガイモなどを入れたりして使っているそうです。



まず材料の説明がありました。カゴの材料はテープだけです。「これは新聞屋さんから貰ってきた物ですよ」と先生が言われると、色とりどりのテープを見て「きれいな感じがする」との感想が聞こえてきました。テープの色はカゴを編んでいくのに判りやすいように青、赤、黄色、緑、白と多彩です。

さて実践です。まず底から作りまします。黄色と赤のテープを2本上下に交差させてセロテープで固定します。そこに緑と青のテープを同じように斜めに交差させながら潜らせ、穴が六角形になるようにします。この時点で穴を飛ばして編んでしまったり、どこに通すのかわからなくなったりする生徒もいました。その都度先生がアドバイスをし、優しく指導していま

た。底の部分が終わったら、いよいよカゴの形にテープを立ち上げていきます。今度は白いテープを使って底のテープをギョツと締めながら全部のテープに交差して締め上げて五角形の穴を作っていきます。するとカゴのような形になってきました。同じ要領で三段編み上げると最後の仕上げです。余ったテープを今度は下に折り返して編み込み、カゴの縁を作ります。この頃になると子供たちは要領を飲み込んで、先生たちが驚くほど上手になっていました。子供たちはそれぞれ自分で作ったカゴを楽しそうに見つめていました。途中で、先生が「昔は竹やツルなどで編んでいたんですよ」と説明すると「大変そう」と自分の苦勞に照らし合わせた素直な感想が聞く事ができました。

あさまるinfo
●谷津干潟の日市民作品展作品展募集!!
展示期間：平成16年6月1日(火)～6月13日(日)まで
募集期間：平成16年5月1日(土)～5月16日(日)まで
募集条件：谷津干潟の自然に関する作品とし、保全等にそぐわない作品はお受けできません。また、出展希望者については、市内外を問いません。作品の提出については、観察センターへお持ちください。

- 作品種類：
①写真/規格：四つ切り、四つ切りワイド、2L 1人2点まで 先着50点
②絵画/(油絵、水彩画、鉛筆画、版画) 1人2点まで先着20点
規格：10号サイズ以下(額入れガラス抜きで応募)
③八ガキ絵/1人4点まで 先着40点
④書道/規格：半紙(24cm×33cm) 1人2点まで 先着30点
⑤短歌・俳句/規格：並幅(6cm×36cm) 短冊にて応募、1人2点まで先着30点

提出先：谷津干潟自然観察センター 谷津干潟の日実行委員会事務局
電話 047 - 454 - 8416 *詳細については、お電話でお問い合わせ下さい

主催：谷津干潟の日実行委員会・習志野市
●『第9回わんぱく相撲習志野場所』わんぱく力士とお料理体験参加者募集
参加対象者：小学校1年生～6年生
開催日：平成16年4月25日(日)午前9時～午後3時半
会場：習志野市立東部体育館及び総合教育センター(参加費無料)
申込期限：平成16年4月15日
問い合わせ先：

(社)習志野青年会議所事務局
電話・FAX 047 - 452 - 9909 (月～金 午前10時～正午)
わんぱく担当事務局：布施、織戸、宮本
電話 090 - 1216 - 2744 (月～金 午前9時～午後5時)

申込方法：お問い合わせの上、所定の申込用紙にて郵送またはFAXください。また、ホームページからも申込できます。 http://www.narashino-jc.com
●平成15年度ならしの学校音楽祭

開催日：平成16年3月29日(月) 開場/午後1時20分 開演/午後2時
会場：習志野文化ホール 入場無料 問い合わせ 教育センター 475-5156
習志野高等学校吹奏楽部や第一中学校、谷津小学校管弦学部をはじめ、音楽活動において活躍した習志野市立学校10団体の素晴らしい演奏をお聴き下さい。

余った時間で、包装紙など身近にある材料で小さなお雛様も作りました。3枚重ねの四角い紙を三角に折り真ん中に穴を開け、そこに綿棒の顔が入ります。ボール紙に金色の折り紙を張った金屏風の前にお雛様を並べると、それは立派な雛飾りになりました。男の子でただひとり参加した片岡君は「女の兄弟がいなくて、なんか嬉しい」と女の子たちよりも楽しんでいました。出来た子から元気に「ありがとうございま



◆桜
桜の季節が到来しました。今年も例年より開花が早く、この週末には見頃を迎えるでしょう。そもそも「桜」という名前は、古事記の木花開耶姫のサクヤから名付けられたという説と、さくらの「さ」は早苗、早乙女と同じ穀霊(穀物の霊)を表す接頭語で「くら」は神霊が鎮座する場所を指し、「さ+くら」で穀霊の集まる依代を表すという説もありま

す。他にも色々な説がありますが、昔から桜の開花が農作業の目安のひとつになつてきた事を思えば、昔の人々が桜に神が宿ると考えても不思議ではないでしょう。桜には国内だけでなく自生する桜は9種類、変品種や園芸種を含めると約300種類もあるそうです。まだ発見されていない品種もあることでしょう。それだけ日本には桜が定着し親しまれているのです。
和菓子屋さんの桜餅の皮は道明寺と小麦粉の2種類がみられますが、桜の葉は山桜の葉を塩漬にした物だそうです。またお祝い事の時に出演される、桜湯の花は八重桜の花の塩漬です。最近ではアイスクリームやパンなどに「桜風味」として登場する事も多くなりました。
一足早く葉桜になってしまいましたが、JR津田沼駅からマロニエ通りに向かって歩いて行くと、予備校前の交差点に桜が咲いていました。通称「合格桜」と呼ばれ、受験生の心を和ませていました。受験シーズンに咲く早咲きの「河津桜」が植えられており、受験生に「サクラサク」というサインを贈っているかのようです。